

# 資源循環・脱炭素化に向けた 地域環境インフラの更新支援

#生活排水処理

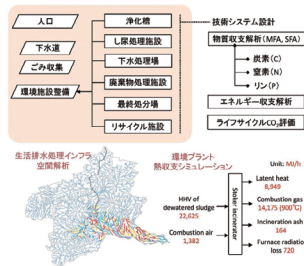
#廃棄物処理

#物質・エネルギー収支解析

#ライフサイクル評価

研究  
内容

- 下水処理場、ごみ焼却施設を中心に、技術システムの更新による効果を評価するためのシミュレーション解析を行っています。
- 対象とする施策は、物質代謝の再設計、エネルギー利用の高度化、温室効果ガス排出削減策に加えて、集合処理（下水道）と分散処理（浄化槽）の最適な分担、事業の効率化に向けた施設間連携を含みます。
- 環境影響に限定せず、経済性、社会受容性、災害に対する強靱性も研究領域とし、将来に向けた地域環境インフラのあるべき論を追求しています。



その他

Develop+

応用分野

都市の持続可能性、地域循環共生圏、2050 年カーボンニュートラル



中久保 豊彦 NAKAKUBO Toyohiko

環境エネルギー工学専攻 准教授

環境システム講座 環境マネジメント学領域



## 論文・解説など

- [1] Nakakubo, T. et al., Journal of Cleaner Production 516, 145730, 2025.
- [2] Nguyen, T.D.T., Kawai, K., Nakakubo, T., Journal of Material Cycles and Waste Management 25, 302-313, 2023.
- [3] Wang, K. & Nakakubo, T., Journal of Cleaner Production 379, 134794, 2022.

連絡先HP

